



令和5年度 埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業

団体名：ワイルドナイツジュニアユース

運営団体：NPO法人ワイルドナイツスポーツプロモーション

目次

- 実施団体の紹介
- 実証事業を始めるにあたって
- 実証事業の内容
- 実証事業へのサポート
- 実施事業の課題
- 今後の展開
- まとめ



実施団体の紹介



ワイルドナイツジュニアユース



公式HP : <https://wildknights-jryouth.com/>

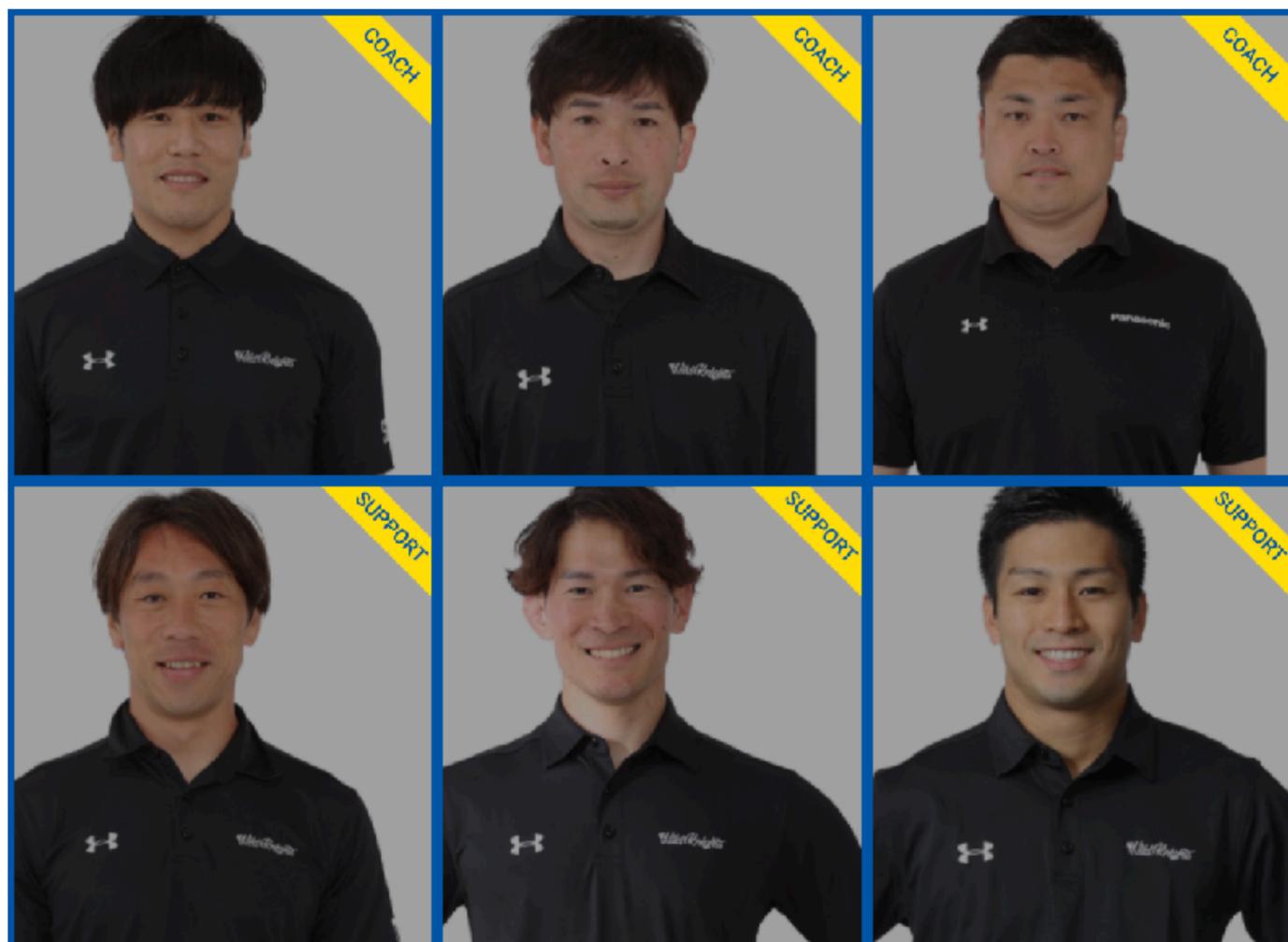
活動理念：私たちはラグビーを通じて世界のひとびとになくってはならない存在でありたい

ミッション：次代を担う子供たちに、夢を持つことの素晴らしさを伝える

実施団体の紹介



主なスタッフ



ヘッドコーチ、アシスタントコーチ、メディカルトレーナー、事務局、通訳 他。

活動方針

ワイルドナイツの極意を学ぼう！

--- WILD KNIGHTS Jr YOUTH ---

活動方針

- ＞ 私たちは、目的を持った集団を目指します
- ＞ 私たちは、規律を守ります
- ＞ 私たちは、絶対に最後まで諦めません
- ＞ 私たちは、チームと自分たちのために責任ある姿勢を貫きます
- ＞ 私たちは、仲間、そして、自分を信じます
- ＞ 私たちは、何事にも前向きに取り組みます
- ＞ 私たちは、過去にこだわらず未来を大切にします
- ＞ 私たちは、多くの人に良い影響を与える存在になります
- ＞ 私たちは、家族、仲間、応援して下さる皆さんと繋がります

実施事業を始めるにあたって



令和4年12月

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】



- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

- ①子ども達に一つでも多くの選択肢を提供する
→様々な運動競技の体験、経験、部活動との共有
- ②子ども達に多様な環境で運動を行う場を提供する
→学校、民間施設、行政施設など
- ③複合的な指導の提供
→各種専門スキルを提供できる指導者との触れ合い
- ④指導者育成
→③に伴う指導者が活躍できる場所の提供
- ⑤社会貢献の機会の提供
→地域清掃活動、各種ボランティア活動への参加など

実施事業を始めるにあたって



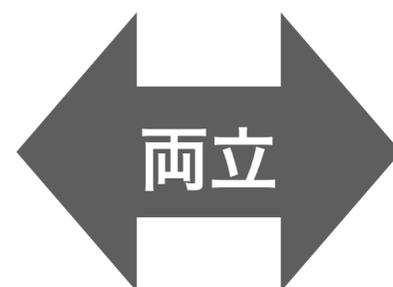
ジャパンラグビーリーグワンの参入条件

①自治体・地域協会との連携・協働	ホストエリアの自治体、および地域のラグビー協会と連携協定を締結し、コミュニティ内のラグビー普及・振興に協働している
①育成チームの所有・運営	育成チーム(U15/U12)を所有し、定常的に運営していること •遅くとも、2024年4月までに正式稼働すること

2023年度より推進される「公立中学校の運動部活動の地域移行」がきっかけ



部活動



ラグビースクール

ジュニア世代は二重登録が可能

実施事業の内容



対象者：中学生（経験者、未経験者問わず）

活動日：金曜日（19:00-20:30）

土曜日（15:00-16:30）

日曜日（15:00-16:30）

活動場所：立正大学（熊谷市）

熊谷スポーツ文化公園（熊谷市）

さくらオーバルフォート（熊谷市）

日本薬科大学（伊奈町）

月謝：¥15,000/年間運営費：¥10,000（保険代、施設代、登録料）



実施事業の内容



2023年4月に説明会と体験を実施
2023年5月より本格的に活動を開始

年間スケジュール

※スケジュールは都度変更となる可能性がございますので、
詳細は公式LINEにてお知らせ致します

2023-2024

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun						
					1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4					1	2							
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9						
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16						
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23						
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30			²⁴ ₃₁	25	26	27	28	29	30						
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun						
	1	2	3	4	5	6					1	2	3							1		1	2	3	4	5							
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12						
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19						
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26						
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30		²³ ₃₀	²⁴ ₃₁	25	26	27	28	29	27	28	29	30									
Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun						
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4					1	2	3						
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10						
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17						
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24						
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29				25	26	27	28	29	30	31						



公式LINEを活用し、スケジュールの配信や
活動レポートの配信、また参加の出欠も事前に共有

<p>NEWS</p> <p>2023年度 WILD KNIGHTS Jr. YOUTH Week33</p> <p>ワイルドナイツJr.ユースの林です。新</p> <p>2024年1月14日</p>	<p>NEWS</p> <p>2023年度 WILD KNIGHTS Jr. YOUTH 体験会</p> <p>ワイルドナイツJr.ユースの林です。明</p> <p>2024年1月7日</p>	<p>NEWS</p> <p>2023年度 WILD KNIGHTS Jr. YOUTH Week32</p> <p>ワイルドナイツJr.ユースの林です。今</p> <p>2023年12月23日</p>
<p>NEWS</p> <p>2023年度 WILD KNIGHTS Jr. YOUTH Week31</p> <p>ワイルドナイツJr.ユースの林です。1</p> <p>2023年12月17日</p>	<p>NEWS</p> <p>2023年度 WILD KNIGHTS Jr. YOUTH Week30</p> <p>ワイルドナイツJr.ユースの林です。リ</p> <p>2023年12月10日</p>	<p>NEWS</p> <p>2023年度 WILD KNIGHTS Jr. YOUTH Week29</p> <p>ワイルドナイツJr.ユースの林です。1</p> <p>2023年12月3日</p>

実施事業の内容

トレーニングプランの例

Start Time	Time Block
15:00	90Min

WILD KNIGHTS JR.YOUTH ALL AREA 立正大学ラグビーグラウンド

前を見る
コミュニケーションを取る
状況判断をして動く

Date 2024/1/14
15:00-16:30

Start Time	Duration	Activity	Objectives	Coaching point/Rules	Equipment	Coach
		・ゴムチューブ ・ catch&pass ・ stretch	・ 怪我防止 ・ 準備		・ ゴムチューブ	
15:00	5min	・ 挨拶				ALL
15:05	15min	・ W-UP ・ handling skill kick catch~not T cone~OFF load jungle突破 not T cone~OFF load Quick hands pass (leg Control)	・ skill up		・ ball ・ cone ・ Pole	Numa Ram Bee
15:20	20min	・ Hot Zone defence	・ 理解		・ ball ・ cone	Bee
15:40	20min	・ mulch ball	・ positioning	・ DF >coach I 体験	・ ball ・ cone	All
16:00	10min	・ Aussie ball	・ TRY	・ full court ・ 5分2セット	・ ball ・ cone ・ bibs	All
16:10	15min	・ bell game soccer ball rugby	・ TRY	・ 5分3セット		All
16:25	5min	振り返り				ALL

体験者

齋藤蒼太 さいとう そうた

伊藤淳貴 いとう あつき

小沼禪治 おぬま ぜんじと 小6



実施事業の内容



定期的な体験会の実施



社会貢献活動（募金活動）



試合観戦（埼玉ワイルドナイツ）



実施事業のサポート



埼玉パナソニックワイルドナイツ



立正大学



日本薬科大学



民間団体による優先的な施設貸出

実施事業のサポート



熊谷スポーツ文化公園



埼玉県、埼玉県ラグビーフットボール協会にも後方支援をいただいております。

実施事業の課題



既存のラグビースクール（クラブ）との協働の理解がなかなか得られず、対立チームとして敬遠されている。

入会者の人数が思っている以上に伸びていない

中学1年生	中学2年生	中学3年生	合計
13人	1人	1人	15人

理由①) 説明が不十分で理解が得られていない

理由②) 既存のチームとの両立が難しい

理由③) 公式戦（大会）に出場することを現時点では目的にしている

理由④) 金銭的な問題

活動場所が毎回変わるため、参加者の住まいによっては毎回通うことが困難

部活動を地域移行していくための情報収集 *多くの学校にラグビー部があるわけではないので

今後の展開



2024年4月より本格的にチームとしての活動をスタート

→主登録をメインとして、公式戦や大会に出場する

各学年20名程度の選手を集めて、全ての選手に試合をする機会を提供

リーグワンに加盟するチームとの交流（試合）の機会を作る

高校や大学、さらには社会人になってもラグビーに関わる人材育成

→栄養セミナーやインテグリティ教育、社会貢献事業の実施

指導者育成

→日本ラグビーフットボール協会のライセンスの取得

まとめ

この度の実証事業を通しての成果を徹底的に洗い出して、ジュニア世代に対して価値を持ってもらえる活動を提供していきます。それはラグビーという競技の理解だけでなく、理念や精神など、ラグビーの根本を学び、団体競技に欠かせない仲間への思いやりや感謝、協力をする姿勢を育み、さらには家族への感謝の気持ちを大切にする人になってほしいという願いを込めて積極的に取り組んで参ります。



ノーサイド



ご清聴、誠にありがとうございました。